



金魚マイスターフォローアップ講座

～【金魚を飼う文化】大和郡山から発信～

金魚マイスターの皆さんと金魚に関するより専門的な内容を学ぶことにより、知識を深め、今後の活動に活かしてもらうことを目的に開講しています。

「金魚マイスターフォローアップ講座②」

日 時：平成30年12月8日（土）14：00～15：30
場 所：市民交流館 集会室
内 容：金魚の魅力～あなたも審査員！～
講 師 らんちうアカデミー 代表 鷲津 寿典 氏



① 金魚の見方について

☆姿とバランス

頭・胴体・尾が各々最もその特徴を生かし、相対的にバランスの整ったもの。

☆太くたくましいこと

魚の大きさに比例した中で、より太くたくましいものを上とする。

☆鱗の並び色艶が綺麗であること

鱗は乱れず一線に並び、体に比例してなるべく小さいものを上とし、色艶は赤・更紗にこだわらず、赤の場合は濃赤・黄金色でしかも健康な色をしているものを上とする。白・更紗もこれに準じます。

☆品位が豊かであること

貴族的品位を保っているものを上とする。

☆泳ぎが軽やかであること

泳ぐ姿勢は優雅にして、しかも軽やかな尾さばきで、流動的な動作を持たねばならない。

ポイント

【総体のバランス】・【軽やかな泳ぎ】



らんちゅう品評会の順位呼び方

- 1 位 ⇒ 東大関
- 2 位 ⇒ 西大関
- 3 位 ⇒ 立行司
- 4 位 ⇒ 取締一
- 5 位 ⇒ 取締二
- 6 位 ⇒ 東関脇
- 7 位 ⇒ 西関脇



昔、らんちゅうは木桶に入れられて審査をされました。小判型のぷっくりとした体型が関取、丸い木桶が土俵を連想させるため、相撲番付で表現されるようになったそうです。

②模擬審査

らんちゅうが1匹ずつ入った10枚の桶。

1匹あたりの審査の時間は5秒！

頭→胴体→尾 の順に見ていきます。

上品で、上見でも横見でも小判型の体型、尾さばきが上手であること。

尾の立ち上がりは、尾筒に対して約90度であること。各鰭とも均等な大きさ及び動きを必要とします。

1～5点の点数をつけ、この中でベストなものを選びます。自身の採点結果と講師の採点結果を見比べました。なぜこの点数になったかの注釈付きで。(*^_^*)



5秒という短い時間で審査するのは、なかなか難しかったと思いますが、講師の採点と同じ採点をした金魚マイスターもチラホラ・・・
皆さんの目利き力！素晴らしい☆



次回フォローアップ講座③は、3月2日（土）市民交流館 集会室で実施します。

問い合わせ先：〒639-1198

大和郡山市北郡山町248-4 大和郡山市役所 農業水産課

TEL 0743-53-1158（直通） FAX 0743-55-4911